

「第8回介護と医療の座談会」を開催しました



しあわせ生活

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

北坂戸訪問看護ステーションでは、第8回となります「介護と医療の座談会」を開催致しました。

今回は「虐待について」というテーマで意見交換をさせていただきました。

まずは虐待について、虐待の種類・虐待になり得るケースをお話させていただき、当ステーションでの事例を2つ紹介させていただきました。

事例では、経済的虐待にあたるケースや、ネグレクトになっているケースを紹介いたしました。



参加いただいた方からも多数の事例とその対応を報告していただきました。

ネグレクト、身体的虐待、経済的虐待、身体拘束の事例のお話があり、地域包括・行政に相談したケースや、中には法テラスに相談したケースもありました。

意見が多かったのが、介護者・家族が虐待をしている意識がないことが多く、それを気付いてもらうための伝え方・対応方法が難しい場面があるといった意見がありました。

身体的虐待以外は、虐待の事実を把握することが難しいという意見もあり、関わっている事業者すべての方で、常に情報共有をすることが重要だと参加された皆様で、改めて意識をすることができました。

～座談会を終えて～

高齢者虐待の背景には、認知症の症状や介護ストレスなどがあり、ケアする人をケアすることも在宅療養では重要と考えられました。

今回の座談会では、利用者または介護者の変化やSOSに早く気づき、多職種でサポートしていけるよう密な情報共有をしていきたいと思えます。

今後ともよろしく願います。

北坂戸訪問看護ステーション

副管理者 看護師 当銘 ゆかり

次回開催は、1月中旬を予定しております。